



1週間、自動録画した全てのテレビ番組の中から
任意のキーワードで露出シーンを検索できる「SPIDER PRO」。
その充実した機能を活かし、様々な実務に応用するユーザー企業に、その有用性を聞く。

シリーズ「SPIDER PRO」活用事例

放送作家・クリエイティブディレクター

高瀬真尚氏

トップクリエイターの要求に応えるスグレモノ。

視聴率と

「SPIDER PRO」を使い 「数字の取れる」映像を作る

放送作家として「世界ふしぎ発見！」や「開運！なんでも鑑定団」行列のできる法律相談所」などの長寿番組やヒット企画を世に送り出した高瀬真尚氏。

高瀬氏は、放送作家というだけでなく、設立15年目を迎えた映像制作集団ジーワンで、さまざまな番組を手がけている。そして、2004年には、新たに企業のコサルティング(サノオ)と広告制作やコンテンツ制作(ウノオ)を行うズノーを立ち上げた。

テレビ番組の制作は、絶えず視聴率との戦い。番組制作で培ったノウハウを、今はCM制作の現場でも生かして「番組からCMに入っても視聴率の落ちないものを作る」という新たな挑戦に取り組んでいる。

高瀬氏は、クイズ番組風のCMを手がけているが、そこではカメラワークなど全く番組と同じ作り方をするという。また、視聴率の分計でCMの直前直後の数値が落ちないことを検証しながら数多くのシリーズを手がけてきた。そんなこだわりのある高瀬氏が「最近愛用している最強の武器」が

「SPIDER PRO」である。

「SPIDER PRO」は1週間、自動録画をしたすべてのテレビ番組やCMの中から、任意のキーワードで露出シーンを検索できるもの。最新のテレビデータを常に蓄積でき、その情報をすぐに引き出せるため、制作会社、クリエイターにとっても非常に便利な機器であるといえる。

「SPIDER PROを上手に活用すれば、数字の取れる番組を本当作ることができるといって高瀬氏に、その独特の「SPIDER PRO」の使い方、コツを聞いてみた。



株式会社ズノー 代表取締役 高瀬真尚氏

高瀬真尚の 「SPIDER PRO」活用法

① 視聴率が高い番組やシーンを 全て見て検証する

放送後日、視聴率の分計を見ながら数字の高い番組、高いシーンをすべて見ることができる唯一の機器。今まではアシスタントがまとめた番組内容のサマリーで分析していたが、実際の映像で数字の高いシーンをすぐに見られるのは画期的である。

② 企画会議でフル回転 ——時代の空気を読む——

話題になっているキーワードを各局、番組毎にどのような視点で紹介しているか、視聴者に向けたその番組の「ビューポイント」をチェックする。また、広告制作の現場においては、たとえば環境キャンペーン立案の際には、「環境」というキーワード検索を使って、ニュースからワイドショーまで広い範囲にわたってチェックし、情報収集に役立てている。

さらにこんな使い方も…

企画案の「かぶり」チェックにも最適。歴史番組で織田信長を扱うとき、過去に信長をどのように扱ってきたかを検索、保存しておけば、新しい切り口で番組が作れる。